

学校運営の概要

(1) 学校の教育目標

自ら考え、協力し合って、しなやかにたくましく実践する生徒の育成

《目指す学校像》

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 生徒が安心して過ごすことができる学校 |
| 2 | 充実した活動を通じて、生徒が自分の力を伸ばすことができる学校 |
| 3 | 教職員の心身が健康で、仕事に誇りとやりがいを感じる学校 |

《目指す生徒像》

- | | | |
|-----|--------|--------|
| (知) | 楽しく真剣に | 追究する生徒 |
| (徳) | 正しく誠実に | 思慮する生徒 |
| (体) | 明るく健全に | 錬磨する生徒 |

(2) 学校運営の課題

昨年度は、基礎学力の定着、ICTの効果的な活用、特別な支援が必要な生徒への合理的配慮の3点について研修を深めた。その振り返りから、次のような課題が挙げられた。

基礎学力の定着のための活動の工夫として、各教科における授業の導入で課題意識を高めるために、前時の振り返りや復習を行ったうえで学習課題を提示した。本時の活動にスムーズにつなげることができたが、問題解決的な学習をより取り入れて、生徒が問題発見や課題解決を進めるような場を増やしていく必要がある。

また、ICTの効果的な活用等の工夫については、各教科で教科書や資料、課題等の提示、音源や動画の再生、動画撮影等の様々な場面で活用した。視覚的に分かりやすい指示や説明には効果があったが、操作の巧拙に個人差があり、生徒が互いに意見や考えを比較したり検討したりして、生徒個人の考えを深化、発展させるには不十分であり、活用方法を検討する必要がある。

さらに、特別な支援が必要な生徒への合理的配慮については、校内研修や研究授業等を通して、教員が困難に対する指導上の工夫を理解し、生徒に活動の見通しをもたせたり、より分かりやすい指示を行ったりすることができた。一方で、すべての授業に複数の教員を配置できず、特別な支援が必要な生徒に対する合理的な配慮が行き届かないことが課題であった。

(3) 学校運営における今年度の重点と主な手立て

- ① 生徒が安心して過ごすことができる学校
- ② 温かい人間関係づくりと心の教育
- ③ 学力の向上（生徒に付けたい力）
- ④ 充実した活動を通じて、生徒の力を伸ばす
- ⑤ 家庭・地域との連携
- ⑥ 教職員としての資質向上

【具体的な方策】

① 生徒が安心して過ごすことができる学校

○教職員による確実な情報共有と共通実践、組織的な対応

⇒ 「チームの情報共有」と「報・連・相、そして確認」

教職員の知恵、他の事例から学ぶ

－の情報…素早く（隣の人に、学年に、主任に、管理職に）

「Badnews Fast」

- ・当事者が保護者に伝える前に学校から連絡する
- ・その日のうちに事実確認をしておく（関係者全員に、複数で、正確に）
- ・行為や行動に焦点を当てる（人間性ではない、正直に話したことを称賛）

＋の情報…新たな安心感につながる（夢にも、目標にもつながる）

「Goodnews Repeat」

- ・当事者から保護者に伝えるようにする
- ・頑張ったこと、努力したこと、よくなったことや成長したこと
- ・称賛したいこと（他の子供の見本となる、他の教員からの情報 等）

○生徒の安全を守る

⇒ 心身両面での安全性を確保する

○生徒理解、生徒への関わり方

⇒ 生徒への声掛け、関わり

…教師の言動が生徒に大きな影響（+も-も）を与える

その一言、大丈夫ですか？「生徒にとって、私たち自身が環境である」

認める、ほめる、励ます、共に活動する、共に学ぶ

⇒ いじめ、不登校、問題行動への対応…素早く、丁寧に、より多くで

② 温かい人間関係づくりと心の教育

○教育活動全体を通じた道徳教育

○人権感覚を磨く場の工夫

⇒ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

人と人とが触れ合い高め合う機会の充実（体験活動等の実践的活動の充実）

⇒ 教育活動全体を通じて、自他の生命と人権を尊重する意識を高める

③ 学力の向上（生徒に付けたい力）

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得

⇒ 実態把握・分析・実践

付けなければならない力は？ 足りない力は？ それをどうやって付けるか

○学ぶ意欲を高め、実感を伴った「分かる授業・見える授業」

⇒ 授業改善…授業者(教師)が満足できる授業ではなく、

学習者(生徒)が満足できる授業

「振り返り」「まとめ」をしっかりと

⇒ ICTの活用、学力下位層を学びに導く工夫、家庭学習の習慣化

④ 充実した活動を通じて、生徒の力を伸ばす

○生徒一人一人が役割を自覚し、貢献の喜びが実感できる活動の推進

○生徒自らが創り上げる活動

⇒生徒は …挑戦する、考える、判断する、議論する、認め合う

しなやかに対応する

⇒教職員は…認める、任せる、信頼する

⑤ 家庭・地域との連携

○地域・保護者への積極的な情報発信

○ボランティア活動等への参加

⇒ HPの更新、「あんしんメール」の活用（文書配付）

⇒ 小さなこと、身近なことから

○コミュニティ・スクール（CS）の推進

⇒ 地域・家庭との連携・協働…よりよい教育の実現と地域の活性化
地域での子供たちの活躍の場

⑥ 教職員としての資質向上

○心身の健康

⇒ 健康な心身が自分自身をアップデートするには不可欠

○生徒との信頼関係の構築

⇒ 本気で関わることができるか

○本質を見極める

⇒ 教育のプロとして、すべての業務における本質を見極め、取り組む